

YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY



2024-25年度 RI 会長 / ステファニー・アーチック
RI.D2590 ガバナー / 長戸はるみ
横浜旭RC 会長 / 北澤 正浩

カールスカウト
とクリーン作戦



第11回 チャリティコンサート

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区万騎が原33 / 〒241-0836
TEL.080-1215-6668 / FAX.045-362-0024
<http://yokohamaasahirc.org>
Email: asahirc@titan.ocn.ne.jp
例会場 二俣川駅ジョイナステラス3 / 4F コミュニティサロン
例会日 月3回 水曜日 / 12時30分 ~ 1時30分

2025年2月5日 第2569回例会 VOL.56 No.22

- 司会 SAA 関口 大樹
- 開会点鐘 会長 北澤 正浩
- 出席報告

会員数	21名	本日の出席数	15名
本日の出席率	75.00%	修正出席率	80.95%

■本日の欠席者

日向、中谷、二宮、岡田、宋

■オンライン出席 草柳、佐藤 (真)

■誕生日祝い 佐藤 真吾 2.6

■米山功労者 (第6回) 佐藤 利明 会員

■PHF 佐藤 真吾 (2回) 岡田 隆

■会長報告 北澤 正浩

皆様、こんにちは。

まずは、先日開催されました瀬谷ロータリークラブとの合同例会にご参加いただいた皆さま、大変お疲れ様でした。当日は多くの会員が揃い、とても賑やかで、活気のある例会となりました。改めて、ご協力いただいた皆さまに感謝申し上げます。

合同例会のにぎわいを見ながら、ふと昔のことを思い出しました。かつて、当クラブも多くの会員が在籍し、同じように活気に満ちていた時期がありました。その頃の熱気や交流の楽しさを知っている方も多いのではないのでしょうか。

現在、私たちのクラブも、より一層の発展を

目指し、会員増強に力を入れていくことが大切だと感じています。ロータリー活動の意義を広め、共に奉仕の精神を分かち合える新たな仲間を迎え入れることで、再びかつてのようなにぎやかで活力のあるクラブを築いていきましょう。

会員一人ひとりの力が必要です。ぜひ皆さまのお知り合いにロータリークラブの魅力を伝え、新たな仲間を増やしていきましょう。引き続きご協力をお願いいたします。

前回の合同例会でもお話しさせていただきましたが、1月26日に開催されたチャリティコンサートにご参加いただいた皆様、本当にお疲れ様でした。多くの方々のご協力のおかげで、無事に成功を収めることができました。特に、新川会員と福村会員には、準備から当日運営に至るまで、大変なご苦勞をいただきました。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

チャリティコンサートは、ロータリークラブの活動をより多くの方々、特に若い世代に知ってもらえる貴重な機会であると考えております。我々の奉仕の精神や社会貢献の意義を伝えるためにも、このようなイベントを継続していくことが重要だと改めて感じております。

今後も、皆様のお力添えをいただきながら、チャリティコンサートをより良いものにしてい

きたいと思います。引き続き、ご協力のほどよろしくお願いたします。

■チャリコン部会 新川 尚

1月26日に無事チャリティーコンサートを開催することが出来ました。皆様のご協力に感謝申し上げます。募金は73,861円でした。

来年は1月25日(日)に開催予定です。宜しくお願いします。



■ニコニコBOX

新川 尚／①先日のチャリティーコンサートへのご協力頂きありがとうございました。②本日のフォーラム宜しくお願いします。

安藤 公一／①新川さん本日の国際奉仕フォーラム宜しくお願いします。②1月26日のチャリコンお疲れ様でした。13年も続いているのは、新川さん福村さんのご尽力の御蔭です。

市川 慎二／新川さん卓話宜しくお願い致します。

関口 大樹／新川さん、本日の卓話宜しくお願いします。

目黒 恵一／事務局、佐藤聖子さんのひとりお嬢様のご結婚おめでとうございました。

五十嵐 正／新川さん、チャリコンお疲れ様で

した。また本日のフォーラムよろしくお願いたします。

関澤 信吾／新川さん、チャリコンお疲れ様でした。今日の卓話宜しくお願いします。

佐藤 勉／新川さん、本日の卓話イよろしくお願いたします。楽しみです。

■国際奉仕フォーラム 新川 尚



ロータリークラブの国際奉仕 (International Service) は、世界中の地域社会のニーズに応え、国際的な理解、親善、平和を促進するための取り組みを指します。これは、ロータリーの五大奉仕部門 (クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕) の一つであり、特に国境を越えた支援活動に焦点を当てています。

国際奉仕の主な活動

1. 国際的な人道支援

- 発展途上国への医療支援 (病院の設立、医薬品の提供)
- 安全な飲料水と衛生設備の提供
- 教育機会の拡充 (学校建設、奨学金支援)

2. ロータリー財団のプログラム

- ポリオ根絶 (End Polio Now) : ロータリーが長年取り組んできた、ポリオ撲滅のための世界的な活動。
- グローバル補助金 (Global Grants) : 国際的なプロジェクトを支援するための資金提供。

- 地区補助金 (District Grants) : 地域社会のニーズに応じた小規模な国際プロジェクトを支援。

3. 国際ロータリーのパートナーシップ

- 世界保健機関 (WHO)、ユニセフ (UNICEF)、ビル&メリンダ・ゲイツ財団などと協力し、世

界規模の社会問題に取り組む。

4. 異文化交流と理解の促進

- 青少年交換プログラム (Rotary Youth Exchange)：高校生が海外で学び、異文化を体験する。
- ローターリー平和フェローシップ (Rotary Peace Fellowship)：平和と紛争解決を専門とする大学院生への奨学金。
- グループ研究交換 (GSE)：異国の専門家が相互訪問し、職業的な見識を深める。

国際奉仕活動の特徴

- 地元クラブが主体となり、他国のクラブや団体と連携してプロジェクトを実施。
- 持続可能な活動を重視し、単発の支援ではなく、長期的な変化をもたらす取り組みを行う。
- 国際的なネットワークを活用し、各地域のニーズに適した支援を提供。

ロータリークラブの国際奉仕は、単なる資金提供にとどまらず、世界中の人々と協力しながら、より良い未来を築くための実践的な活動を行っています。

【グローバル補助金例】

HappyBirth&Happy Baby

2019年実施

実施国／モンゴル国第 3450 地区 TuulRC

援助国／日本第 2590 地区横浜金沢 RC

第 2580 地区宜野湾ロータリークラブ

- 重点分野：母子の健康

当時モンゴルでは新生児の死亡率が日本の 10 倍だった。

- 新生児蘇生モデルおよび蘇生キットの贈呈 (27 セット)

- 新生児蘇生技術習得のための研修会開催 (全 4 回)

研修内容／

WHO 新生児蘇生法の教材を用いた講義と実習

対象：全国 25 施設 (ウランバートル 4 施設、他 21 県各 1 施設) より各 4 名

- 総予算：US\$169,700 (¥18,134,500)



世界中で活躍する「行動人」

2025年2月

■オランダ



平和への情熱を持つオランダの五つのローターアクトクラブは、コンゴ民主共和国で、紛争に関するシンポジウムを開催しました。9月21日の「国際平和デー」には、非営利団体「フォーカス・コンゴ」の創設者、パピー・オリオンさんが、少年兵から平和構築家となった自身の経験について語りました。このイベントには、人道的危機に関するパネルディスカッションが含まれ、コンゴの料理、視覚芸術、音楽、舞踊などが紹介されました。ザ・ハーグ・インターナショナル・ロータリークラブのニコラス・エグンジョビさんは次のように述べています。「私たちのクラブがこのプロジェクトを行うと決めたのは、声を上げ、意識を高め、地域に対する希望を大きくするための資金を集めたいからです」このイベントは、オリオンさんの非営利団体のために約7,400ドルを集めました。「私たちが支援しようとしているプロジェクトには、国内避難民キャンプの建設と維持が含まれています」とザ・ハーグ・インターナショナル・クラブの会員であるアナ・ズラテブスキーさんは言います。

■ジャマイカ



七つのロータリークラブとキングストン・ローターアクトクラブが集まり、ジャマイカの首都でインタラクティブな壁画の制作を行いました。アプリで絵をスキャンすると、ロータリーの重点分野、入会方法、ロータリー財団への寄付方法など、トピックに関する追加情報が表示されます。「この壁画は単なる芸術的表現ではありません」と、キングストン・ロータリークラブの元会長であるスティーブン・ハドソンさんは言います。「壁画全体が重点分野への献身を象徴しています」これらのクラブは、画家のアンソニー・"タオセン"・スミスさんとデジタルアーティストのキアンヌ・パトリス・ハッチンソンさん、団結と経済発展を促進する非営利芸術団体キングストン・クリエイティブと協力して、拡張現実プロジェクトをプロデュースしました。キングストン・イースト・アンド・ポートロイヤル・ロータリークラブ会員のメリッサ・アンダーソンさんは、壁画を通して「ロータリアンとしての自分たちを示すことができる」と述べています。「私たちは一つ一つの地域社会で変化をもたらし、ほかの人たちにも一緒に奉仕活動に参加してもらいたいと願っています」